

分野	62	都市経営	<b>通番 146</b>
施策	622	財産の適正管理	
<b>5年後の目標</b>		市有財産が適切に管理され、市民が最大の効用を得られるよう適正に運用されている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>公会計制度の整備</b>		会計	款	項	—	財政課
			—	—	—		
事業の概要							
<p>財政の透明性を高め、市民等への説明責任をより適切に果たすため、従来からの現金主義・単式簿記による会計制度に加えて、発生主義・複式簿記など企業会計的手法を活用した公会計制度の整備を図ります。</p>							

令和2年度の取組																																																																						
D (取組)	指標	国の統一的な基準による公会計財務書類の作成及び公表				単位	—																																																															
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2																																																															
	平成28年度 新規事業	目標	地方公会計システムの整備	財務書類の作成及び公表	財務書類の作成及び公表	財務書類の活用を検討	財務書類の活用を検討																																																															
		実績	地方公会計システムの整備	財務書類の作成及び公表	財務書類の作成及び公表	財務書類の活用を検討	財務書類の活用を検討																																																															
<p>・研修に参加する等して、総務省による検討状況等や他市町村の事例に関する情報収集を行い、財務書類の活用方法について検討しました。</p> <p>・総務省により、固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした財務書類の作成に関する「統一的な基準」が示され、各地方公共団体はこれに則った財務書類を平成28年度決算分から作成することとされています。令和2年度も「統一的な基準」による財務書類として令和元年度決算分を作成し、市ホームページで公表しました。</p>					<p style="text-align: center;">貸借対照表 (令和2年3月31日現在)</p> <p style="text-align: right;">— 一般会計等(複式第1号)</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額</th> <th>科目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【資産の部】</td> <td></td> <td>【負債の部】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現金預金</td> <td>122,498</td> <td>固定負債</td> <td>33,884</td> </tr> <tr> <td>短期固定資産</td> <td>118,876</td> <td>地方債</td> <td>30,110</td> </tr> <tr> <td>繰上資産</td> <td>91,927</td> <td>金融負債</td> <td>677</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>72,002</td> <td>退職年金等負債</td> <td>5,127</td> </tr> <tr> <td>公有物</td> <td>0</td> <td>地方債等引当金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>53,252</td> <td>貸付金</td> <td>3,488</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>▲ 36,172</td> <td>退職給付引当金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>建物等修繕費累計額</td> <td>2,034</td> <td>1年以内返済予定地方債</td> <td>2,471</td> </tr> <tr> <td>工務費</td> <td>0</td> <td>繰上金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>上水道修繕費累計額</td> <td>▲ 654</td> <td>繰上費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>0</td> <td>繰上資産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>下水道修繕費累計額</td> <td>0</td> <td>繰上負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>埋蔵金</td> <td>0</td> <td>繰上引当金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>埋蔵金等修繕費累計額</td> <td>0</td> <td>繰上引当金</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">令和元年度財務書類の一部</p>		科目	金額	科目	金額	【資産の部】		【負債の部】		現金預金	122,498	固定負債	33,884	短期固定資産	118,876	地方債	30,110	繰上資産	91,927	金融負債	677	土地	72,002	退職年金等負債	5,127	公有物	0	地方債等引当金	0	建物	53,252	貸付金	3,488	設備	▲ 36,172	退職給付引当金	0	建物等修繕費累計額	2,034	1年以内返済予定地方債	2,471	工務費	0	繰上金	0	上水道修繕費累計額	▲ 654	繰上費用	0	道路	0	繰上資産	0	下水道修繕費累計額	0	繰上負債	0	埋蔵金	0	繰上引当金	0	埋蔵金等修繕費累計額	0	繰上引当金	0
科目	金額	科目	金額																																																																			
【資産の部】		【負債の部】																																																																				
現金預金	122,498	固定負債	33,884																																																																			
短期固定資産	118,876	地方債	30,110																																																																			
繰上資産	91,927	金融負債	677																																																																			
土地	72,002	退職年金等負債	5,127																																																																			
公有物	0	地方債等引当金	0																																																																			
建物	53,252	貸付金	3,488																																																																			
設備	▲ 36,172	退職給付引当金	0																																																																			
建物等修繕費累計額	2,034	1年以内返済予定地方債	2,471																																																																			
工務費	0	繰上金	0																																																																			
上水道修繕費累計額	▲ 654	繰上費用	0																																																																			
道路	0	繰上資産	0																																																																			
下水道修繕費累計額	0	繰上負債	0																																																																			
埋蔵金	0	繰上引当金	0																																																																			
埋蔵金等修繕費累計額	0	繰上引当金	0																																																																			

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<p>・固定資産台帳の更新時期を早め、財務書類を従来より円滑に作成することができ、昨年度と同様に財務書類を公表しました。</p> <p>・5年間の期間で国の統一的な基準による公会計財務書類の作成及び公表について、定着をはかることができました。</p>	—
	課題等	—	—	—	

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>今後も、公会計制度に基づく財務書類の作成および公表を継続します。</p>